

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	大成ラミック株式会社	事業所名	本社・工場				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	燃料法に使用燃料に対し二酸化炭素排出係数で算出し、四半期毎に総括を報告し問題の抽出を行っている。			○	○	○
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	毎月会議にて報告し、情報を共有している			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	委託先を選定する際は、グリーン経営認証取得業者や、安全性優良事業者を優先している			○	○	○
03	物流拠点の活用による輸配送の効率化 ----- ()	国内6箇所に物流拠点を設け、一部現地配送を行っている			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	商品を入れる段ボールのサイズを極力絞り、積載率を上げている 納入先の合意のうえ、段ボールレス化の実施			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組	輸送先や輸送量に応じ、混載便を利用している また、他事業者と車両を共同で利用するなどしている			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上による輸配送の効率化 (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	輸送業者に対し、輸送量に応じた積載量の車両を発注している	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	営業から物流担当部署への発注締切時間を午後2時としている	○	○	○
06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 ()	関東圏内を中心に配送エリア毎に配車を行う事で、無駄な輸送距離を削減している。 広島・東北方面に関してはJR貨物を使用している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	グリーン経営認証を取得し、アイドリングストップ・エコドライブを実施している。 今期デジタコを導入する予定です。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施	ドライバーに対し、毎月安全教育・環境に対する教育を実施し、エコドライブの重要性を共有化している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	路上駐停車のないようトラックの駐車場を確保している。	○	○	○
08 サードパーティーロジスティクスの活用 ()	貨物輸送の大部分を物流子会社へ委託し、効率化を図っている。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ()	トラック輸送が主であるが、鉄道貨物輸送(JR)や、船舶輸送を一部活用している。	○	○	○
11 その他の必要な取組 ()	工場、倉庫間の走行において、工場から出荷する製品と、倉庫から出庫する原材料を同一の車両で往復輸送し、空荷走行がないようにしている	○	○	○

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	大成ラミック株式会社		事業所名	本社・工場		R3	R4	R5
取組措置			具体的取組措置					
02 公共交通機関への転換の推進 (02) 送迎バス等の運行			朝1回、夕方2回 運行			○	○	○
03 自転車への転換の推進 (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理			十分な広さの駐輪場を確保・用意している			○	○	○
04 その他マイカー通勤を削減するための取組 (04) テレワーク制度の導入			一部部署で在宅勤務を実施している			○	○	○
07 時差通勤の実施 ()			一部部署でフレックスタイムを導入している			○	○	○